

あ
け
く
れ

河 野 仁 昭



輪を かく

子供にでもさっと消されそうな
無器用な

まるいちいさい輪をかく

いびつなもある

くつきりとかけるのもある

ふとした嫌悪で

とぎれてしまふのもある

おもたくなつた細い手で

描く

力んでもひろがらない

超えられない

嘘と実の縫合などではない

宿業の

ちいさいまるい輪が

はにかんで

一列にならぶ

(大学職員・詩人)